

## 防災担当職員合同研修（内閣府研修）実施結果

中央防災会議の専門調査会において、国の防災担当職員を対象とした研修の必要性があげられ、平成 15 年度より各省庁の防災担当職員を対象とした合同研修が内閣府の主催により実施されています。人と防災未来センターでは、この研修（3日間）のうち1日について、講師を派遣し「昨年多発した災害経験をもとに今後のわが国における防災体制を考えると題し、SWOT 分析によるワークショップを下記のとおり実施しました。

### 記

#### 1 日 時

平成 17 年 2 月 7 日（月）

#### 2 場 所

東京都千代田区平河町 2 - 4 - 1  
都市センターホテル 706 会議室

#### 3 派遣講師

林 春男	上級研究員（京都大学防災研究所教授）
越村 俊一	専任研究員
永松 伸吾	専任研究員
福留 邦洋	専任研究員
平山 修久	専任研究員

#### 4 内 容

昨年発生した災害経験をもとに、国が災害対応を遂行することにより円滑に進んだ点、進まなかった点、国としての災害対応の強み、弱みといった内部環境と、現在のわが国における災害対応・防災行政を取り巻く環境の中で、国として災害対応能力が発揮できる機会（成長機会、追い風）、逆に、能力を発揮できない脅威（逆風）といった外部環境を整理し、それをもとに、今後のわが国の防災体制の方向性、戦略課題についてグループで検討・分析を行った。

#### 5 評 価

「各省庁の方の意見や防災対応に関わる視点、考え方を学べて有意義であった。」との意見が数多く見られた。また、「防災というテーマを幅広い角度から検討し、今後の業務の参考になった」「問題解決方法について具体的に体験できた」等の意見があった。